

「小さな拠点」づくり

全国フォーラム

人口減少や少子高齢化が著しい中山間地域等において、将来にわたって地域住民が暮らし続けられるよう、地域住民が主体となって取り組む「地域運営組織」や、生活サービス機能の集約・確保、集落生活圏内外との交通ネットワーク構築等による「小さな拠点」の形成が全国各地で進められています。

今回の「小さな拠点」づくり全国フォーラムでは、持続可能な地域運営組織の経営を実現している事例や、地域の多様な取組の事例をご紹介します。

ご関心のある方なら、どなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお申込みください！

令和4年

1月14日（金）

13:30～16:30

オンライン開催
(Zoom) ※参加費無料

プログラム

1. 基調講演

「共助のススメ」

株式会社イミカ代表取締役 原田 博一 氏

2. 事例紹介と解析 〈事例解析：明治大学 小田切徳美氏／株式会社イミカ 原田博一氏〉

① 持続可能な地域運営組織の経営

道の駅南信州とよおかマルシェ（長野県豊丘村） 岡田 敬 氏

② 県の視点から見た、地域の多様な取組

高知県中山間振興・交通部中山間地域対策課 岡野 太郎 氏

3. パネルディスカッション

明治大学農学部教授 小田切 徳美 氏（コーディネーター）

株式会社イミカ代表取締役 原田 博一 氏（コメンテーター）

道の駅南信州とよおかマルシェ（長野県豊丘村） 岡田 敬 氏

高知県中山間振興・交通部中山間地域対策課 岡野 太郎 氏



株式会社イミカ代表取締役
原田 博一 氏

インタビューやフィールドワーク、ワークショップなどの定性調査手法の研究開発や実践、教育に従事。地域・組織における文脈の早期把握と状況進展プロセスの設計、及び実行におけるファシリテーションを行う。



明治大学農学部教授
小田切 徳美 氏

専門は農村政策論、地域ガバナンス論。日本地域政策学会会長。農山村をはじめとする地域再生にあり方や政策について、具体的な政策提言も行っている。著書に、『農山村は消滅しない』（岩波書店）等多数。

事例発表

道の駅南信州とよおかマルシェ (長野県豊丘村)

「小さな拠点税制」を活用して住民も出資する株式会社「小さな拠点」を運営。47名の雇用を創出するとともに、道の駅の売り上げも順調に推移している地域運営組織の秘密に迫ります。



高知県中山間振興・交通部 中山間地域対策課

「集落活動センター」を核とした「小さな拠点」の形成を全県的に展開。広域的な県の視点と、実際の地域の目線から、地域の多様な取組を支え、好循環を生み出す「小さな拠点」形成の核心に迫ります。



申込方法 (1月7日 (金) しめきり)

WEBでの申し込み

<https://app.it-online-event.com/r3kyotenall/>



E-mailでの申し込み

下記事項を明記の上、お申込みください。(送付先：)
①氏名 ②団体・企業等の名称 (※個人の方は、お住まいの市区町村名)
③所属部署・役職 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥その他 (質問やご関心がある事柄等あれば、ご記入ください。)

お申込み完了後、1月13日 (木) までに、事務局より参加方法等のご案内メールを差し上げます。

■お問い合わせ先 (委託先)

「小さな拠点」づくり全国フォーラム事務局 (株式会社ツクルス内 : 担当・横田、村中、前原)
電話 : 03-6909-3864 (直通、平日10~18時) E-mail : r3kyotenall@it-online-event.com